

松陽中学校 学びの道しるべ

～平成29年度4月18日に中学3年を対象に実施された調査の分析結果～

1 全国学力調査結果(本校と県・国との正答率の比較)

	石川県	全国
国語A (基礎)	平均並み	上回る
国語B (活用)	平均並み	上回る
数学A (基礎)	やや下回る	平均並み
数学B (活用)	平均並み	大きく上回る

数学A (基礎)における県平均との比較を除き、国語・数学ともに本校の正答率は、「平均並み」か「上回る」「大きく上回る」という結果でした。

日頃の学習により着実に基礎力、活用力を身につけていることがわかります。今後も学ぶ意欲を大切に、生徒達が新しい時代を生きるために必要な力を育んでいきます。

2 設問から見える現在身につけている力(◎)と今後身につけたい力(△)

国語A	国語B
<ul style="list-style-type: none"> ◎目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることができる。 ◎文脈に即して漢字を正しく読むことができる。 ◎書いた文章を推敲したり、語句の使い方を工夫して書いたりできる。 △場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解している。 △文脈に即して漢字を正しく書くことができる。 △文章を読んで、自分の考えを深めたり、広げたりできる。 △相手にわかりやすいように語句を選択して話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解できる。 ◎目的に応じて資料を効果的に活用して話すことができる。 △事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように工夫して話すことができる。 △必要な情報を集めるために見通しを持って相手にわかりやすく書くことができる。 △文章中の表現を根拠として、自分の考えを書くことができる。
数学A	数学B
<ul style="list-style-type: none"> ◎1あたり量を理解している。 ◎回転体を理解している。 ◎立体の面上の線分の長さを求めることができる。 ◎多角形を三角形に分けることができる。 ◎図形の証明ができる。 ◎平行四辺形になるための条件を理解している。 ◎関数の式の値を求めることができる。 ◎1次関数のグラフを読みとることができる。 ◎2元1次方程式のグラフをかくことができる。 ◎確率を求めることができる。 △分子が多項式の分数式で、式の前のマイナスが全体にかかることを理解している。 △方程式の解について解が無数にあること、連立方程式の解はその共通部分であることを理解している。 △1元1次方程式を解くことができる。 △数量の関係を1元1次方程式で表すことができる。 △過不足の問題で関係式をつくることことができる。 △おうぎ形の弧の長さを求めることができる。 △円柱の体積を求めることができる。 △比例のグラフから式を求めることができる。 △反比例の表から比例定数を求めることができる。 △変化の割合が対応表にどう表れるかを理解している。 △範囲を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎全般的にすぐれている。特に数と式・図形領域がすぐれている。 ◎与えられた情報から必要な情報を読みとり事象に即して解釈することができる。 ◎筋道を立てて考え、証明することができる。 ◎問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。 ◎事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。 ◎与えられた説明の筋道を読みとり事象を自分の考えで数学的に表現することにすぐれている。 △「○○さんはこの式を導いたが、どのように考えて導いたのか」を説明することができる。

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子ども達が生きるための大切な力です。なお、本学力調査は、学力の特定の一部を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から

【良かった点】

- ◎しっかりと朝食を摂っている。(本校96%, 全国83%) +13%
- ◎家庭で、自分で計画を立てて勉強している。(本校63%, 全国51%) +12%
- ◎家庭で、学校の宿題や授業の復習をしている。(本校81%, 全国70%) +11%
- ◎今住んでいる地域の行事に参加している。(本校60%, 全国42%) +12%

【課題となる点】

- △学校に行くことや友達に会うことは楽しい。(本校92%, 全国88%) 100%にしたい
- △学校の授業以外に平日2時間以上勉強している。(本校18%, 全国36%) -18%
- △学校の授業以外に休日3時間以上勉強している。(本校18%, 全国35%) -17%
- △学校の規則を守っている。(本校51%, 全国63%) -12%

4 全国学力調査、質問紙調査をふまえた改善策について (※継続実践も含めて)

【学校での取組】

＝基礎・基本の定着に向けて＝

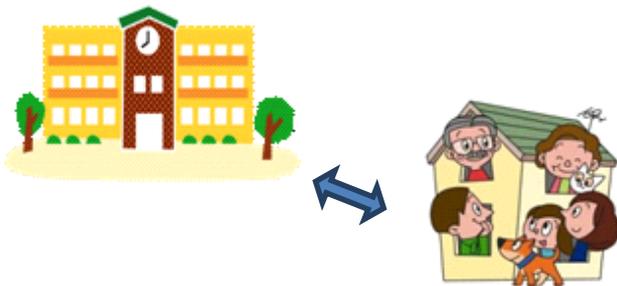
- ・授業のねらいを明確にし、まとめにおいて身についた力を確認する。
- ・必ず前時の復習を行う授業を、継続して実践する。
- ・単元ごとに定着の度合いを確認する等、小ステップでの振り返りを行う。
- ・朝学習、朝読書の時間を大切に、小さな積み重ねを継続する。
- ・学習の経過や成果を表す掲示物を充実させ学習意欲の向上につなげる。
- ・家庭学習の習慣が身につくように、継続的にプリント学習や宿題に取り組めるようにする。(特に英語に関して)

＝活用力の向上に向けて＝

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進める。
- ・自分の考えの根拠や筋道を明らかにして表現することや、学んだ知識・技能を活用して課題を解くような授業展開を進め、定期テストにより検証する。
- ・活用力養成を意図したプリント学習を取り入れ考え方や関連性の見つけ方、言語表現の仕方を教える。
- ・「言語活動」の場面を大切に、伝えるための方法や工夫について指導・評価し、積極的に課題解決にあたることのできる姿勢を養う。

＝その他の取組＝

- ・学習内容の定着を目指した「アップノート・自学ノート」の取組を徹底する。また、定期テスト前の計画的な学習実践をチェックし、面談・声かけを進める。
- ・生徒が主体となった学校づくりに取り組み、様々な場面で語り合い、感動体験を味わえるようにする。
- ・温かい雰囲気をつくり自己有用感を高め、次の一步を踏み出し、自分に挑戦できるような支援を継続して行う。



【ご家庭にお願いしたいこと】

- ・ソーシャル・ネットワーキング・サービス(フェイスブック・ツイッター・ライン等)による生活習慣の乱れや学習への影響、人間関係におけるトラブル等が心配されます。使い方や使用時間等について話し合い、家庭内での約束ごとを作ってください。
- ・学校の様子や社会の出来事などを話題に、お子様と会話する時間を作ってください。そんな中から、自分の将来に対する展望が見えてきたり、自分や他者を大切に思う心が生まれてきたりします。親の愛情・ふれあいは子どものエネルギーのもととなります。ぜひ、お子様と一緒に過ごす時間を大切にしてください。

家庭と学校が連携して、健やかな子どもの育ちを見守りましょう。